学校評価アンケート結果を受けて
※保護者アンケートは197名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

① 子どもたちは学校生活を楽しんでいるか。 児童・保護者・教師ともに楽しんでいるとの回答が9割以上に達し、おおむね良好であることが伺える。しかし、楽しくないという児童がいることを看過してはいけない。今後も個別に寄り添う指導が必要と考える。
② 子どもたちは家や学校や地域で進んであいさつしているか。 児童・保護者の意識はあいさつができていると考えているようだが、教職員からの視点ではまだまだできていないとの見方が多い。学校と家庭との連携を更に強化し、地域の方々へもあいさつができるような習慣作りを進めていきたい。地域の方からは昨年度に比べて挨拶ができるようになったとの評価をいただけているので、成果はでてきていると考えられる。
③ 子どもたちは今年学習したことはだいたいわかっているか。 おおむね学習内容の理解はできていると考えられるアンケート結果あった。しかし、わかっていないと感じている児童がいることは教職員は看過してはいけないと考える。理解が不十分な児童への個別の対応が必要である。
④ 子どもたちは宿題などの家庭学習をしているか。 この点についても、おおむねできているとの回答であった。宿題はどの学年、クラスでもほぼ毎日でていることの成果として、児童の家庭での学習習慣の定着があると考えられる。
⑤ 子どもたちは進んで読書をしているか。 読書の習慣については、児童・保護者・教師どの回答からも不十分であるということがアンケート結果から伺える。学校での学習に読書を取り入れていくことを計画的に増やすことや読書に親しむ環境づくりを更に進め、児童に読書の習慣が身につくようにしていくことが必要と考えられる。
⑥ 子どもたちは健康や体の調子に気をつけて規則正しいリズムで生活しているか。 児童・保護者・教師ともにおおむねできていると伺えるアンケート結果であった。コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、感染症の拡大の懸念は減っていないので、今後も健康に留意した生活習慣を構築していくことを目指していく。
⑦ 子どもたちは友達と仲良く遊んだり、学習したりしているか。 児童・保護者・教師・地域ともにおおむねできていると伺えるアンケート結果であった。しかし、疎外感を感じている児童がわずかでもいることを忘れずに、教職員はこれからも注意を払って指導していかなければいけない。
⑧ 子どもたちは学校行事や地域の行事などに楽しく参加できているか。 児童・保護者・教師・地域ともにおおむねできていると伺えるアンケート結果であった。令和5年度は本郷フェスティバルの開催など地域との行事も行われるようになり、その地域の方々からうれしいアンケート結果を得られたことは喜ばしい限りである。今後も児童が楽しく学校行事や地域の行事に参加できるようにしていきたい。
⑨ 学校の授業は分かりやすいと思うか。 おおむね分かりやすいとの回答を得ることができているが、分かりにくいと考えている児童や保護者がいることを教師は看過してはいけない。どの子にも分かりやすい授業を目指し、授業改善に日々取り組んでいくことが学校の責務である。
⑩ 担任の先生は子どもの話をよく聞いてくれるか。 この点もおおむね聞いてくれているとのアンケート結果であったが、聞いてくれていないと考えている児童や保護者がいることを教師は看過してはいけない。児童が安心して学校生活を送ることがきるよう教師は常に児童の声に耳を傾ける姿勢を忘れてはならない。
⑪ 担任の先生は子どもが間違った行動をしたときに分かるように教えてくれるか。 この点もおおむね教えてくれているとのアンケート結果であったが、教えてくれていないと考えている児童や保護者がいることを教師は看過してはいけない。児童にも保護者にもわかりやすく、また、毅然とした態度でしっかりと要点が伝わる指導をどの教職員もできることを目指していく。

⑫ 学校は施設をきれいにしてわが子が安全に過ごせるようにしているか。
　この点もおおむねできているとのアンケート結果であった。児童が安心して学校生活を送ることができるように、しっかりとした安全点検を今後も徹底していく。